

PowerPoint で動画を作成する方法

必要な機材

- Windows の PC (Mac ではカメラがあっても講師動画の記録が不可, スライド動画と音声の記録は可能)
- 授業準備の整った PowerPoint (この文書は PowerPoint 2019 を想定)
- PC に接続できるマイク (静かな部屋で作るなら内蔵マイクでもおそらく大丈夫)
- PC に接続できるウェブカメラ (PC 付属のものでも OK, カメラがなければ講師動画のないスライドと音声のみの動画でも OK)

必要な準備

- 授業用スライドを作成しておく。このとき、講師動画を撮影するとそれがスライドの右下に表示されることに注意し、その部分を空白にしておく必要がある。
- PC にマイクとウェブカメラを接続し、パワーポイントを立ち上げる。

手順1 設定

- パワーポイント画面の左上の「ファイル」をクリック。
- 左端の列から「エクスポート」を選ぶ。
- エクスポートメニューの中から「ビデオの作成」を選ぶ。
- 以下の選択肢の上はここでは不問、下は「タイミングとナレーションの記録」を選ぶ。



手順2 録画

- パワーポイントの画面が切りかわったら、画面左上の赤い「記録」ボタンをクリック。
- 3秒のカウントダウンの後、録音と録画が始まる。
- 通常のプレゼンと同じように話を始めると、スライドの動きと講師の姿と音声が記録される。
- 途中で言い間違いなどがあったら、画面上方の「クリア」をクリックし、「現在のスライドの録音をクリア」を選ぶと、当該スライドの始まりからやり直すことができる。

手順3 確認

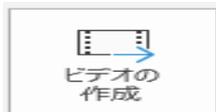
- すべてのスライドを記録し終わったら、画面の真ん中あたりをクリック。
- 画面が戻ったら左上の「ファイル」をクリックし、最初の画面に戻ると、(カメラで講師動画の記録をしていれば) パワーポイントの画面右下に先ほど録画した講師動画が表示される。

手順4 ファイル作成

- パワーポイント画面の左上の「ファイル」をクリック。
- 左端の列から「エクスポート」を選ぶ。
- エクスポートメニューの中から「ビデオの作成」を選ぶ。
- 以下の選択肢の上は「HD (720P)」, 下は「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選ぶ。



- 以下のアイコンをクリック。動画ファイルの保存先を選び、ファイルの名前を決定する。「ファイルの種類」はmp4を推奨。



- 最後に「保存」をクリック。しばらく待つ。